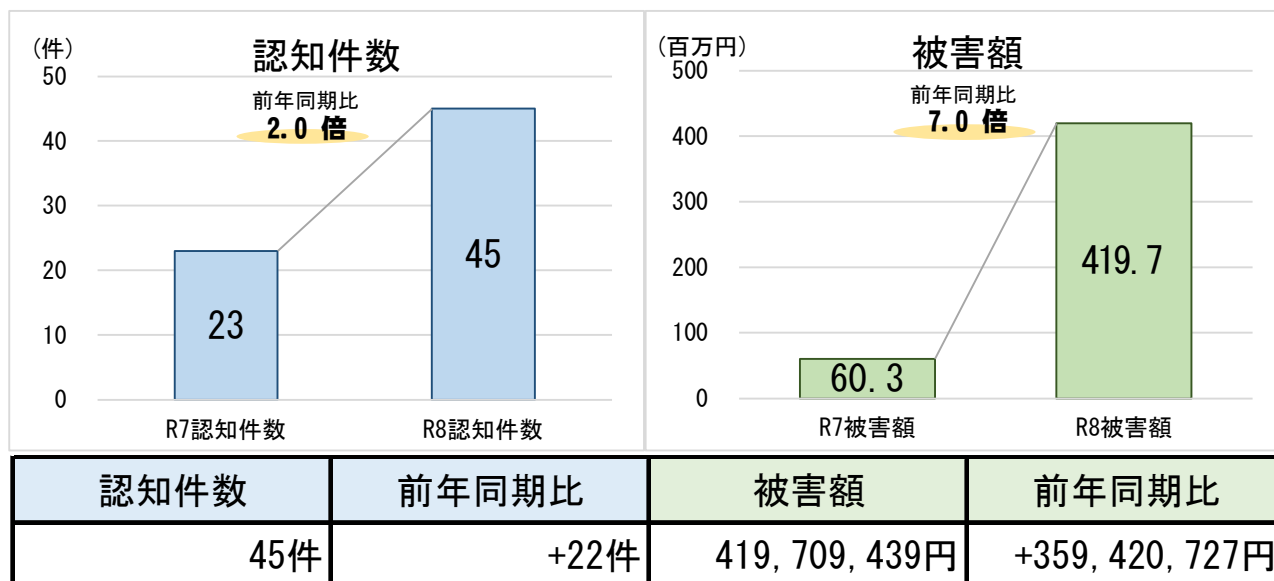


# 特殊詐欺の現状 (令和8年3月末暫定値)

令和8年4月5日  
組織犯罪対策課

## 1 認知状況



令和8年4月1日から、ニセ警察詐欺、SNS型投資詐欺及びSNS型ロマンス詐欺が特殊詐欺の一手口となりました。

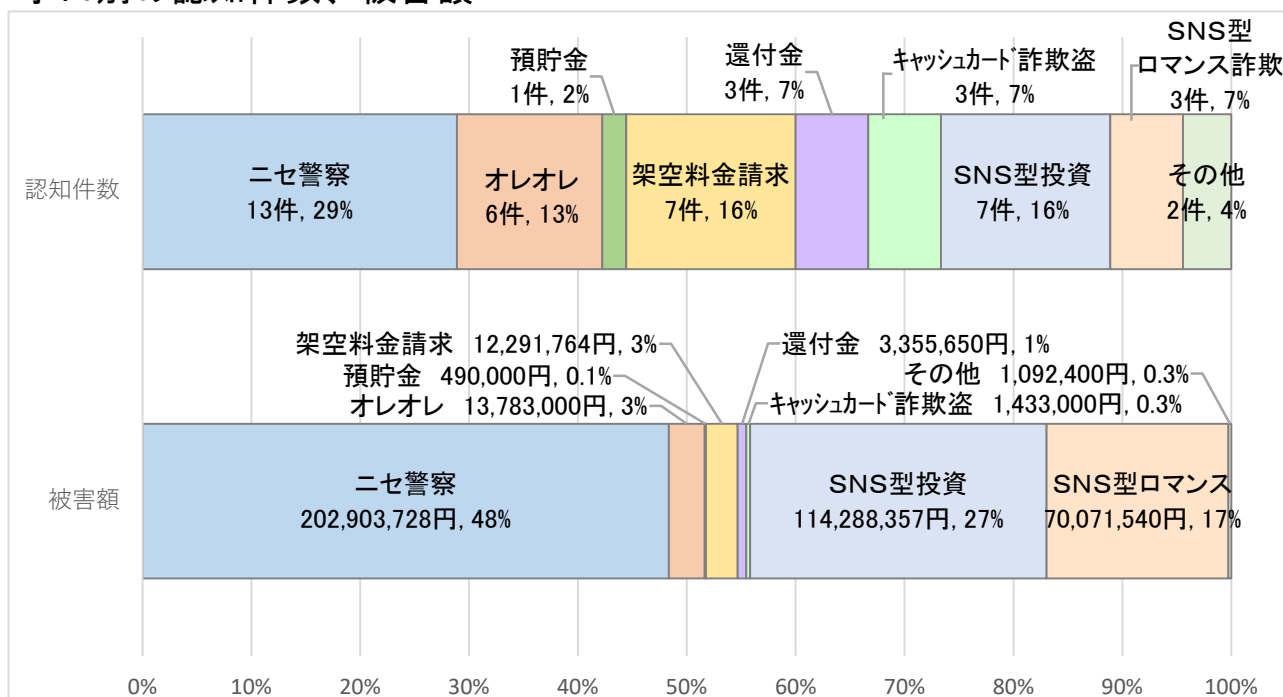
特殊詐欺の手口は、

- ①ニセ警察詐欺、②オレオレ詐欺、③預貯金詐欺、④架空料金請求詐欺、⑤還付金詐欺、⑥融資保証金詐欺、⑦金融商品詐欺、⑧ギャンブル詐欺、⑨交際あっせん詐欺、⑩キャッシュカード詐欺盗、⑪その他の特殊詐欺、⑫SNS型投資詐欺、⑬SNS型ロマンス詐欺

の13類型となりました。

数値は、新基準に基づいたものになります。

## 2 手口別の認知件数、被害額

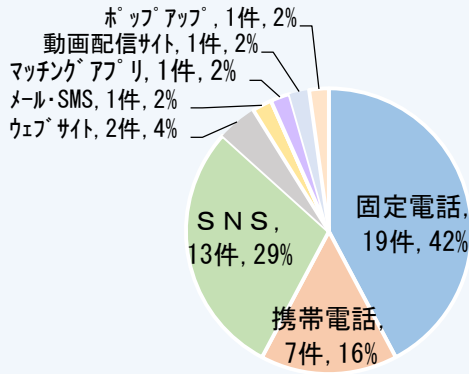


※ その他とは、「融資保証金詐欺」、「金融商品詐欺」、「ギャンブル詐欺」、「交際あっせん詐欺」、「その他の特殊詐欺」の合計を示す。

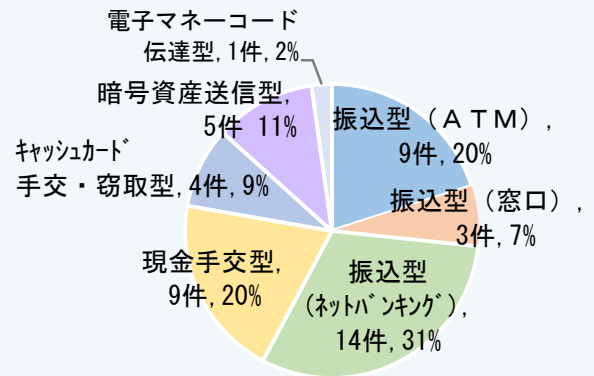
※ 割合は四捨五入のため、合計が100%にならないことがあります。

## 特殊詐欺の特徴

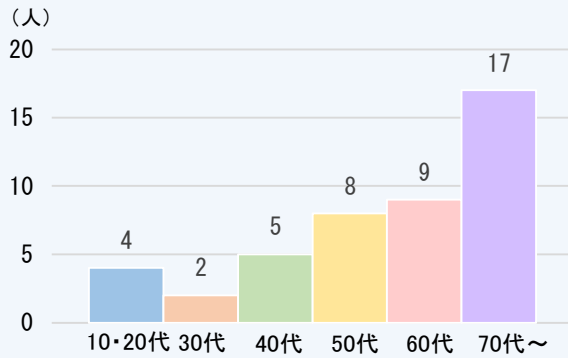
### ○ 初回接触手段



### ○ 交付形態



### ○ 年齢構成

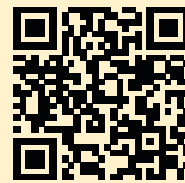


※ 65歳以上の高齢者は18人 (40%)

**詐欺の電話はアプリでブロック!**

**警察庁推奨**

**特殊詐欺対策アプリ**



◀ダウンロードはこちら

警察庁・SOS47  
特殊詐欺対策ページ

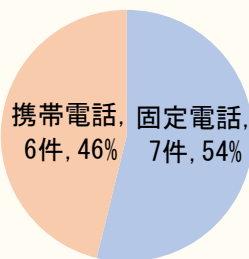
## ニセ警察詐欺

ニセ警察詐欺とは、

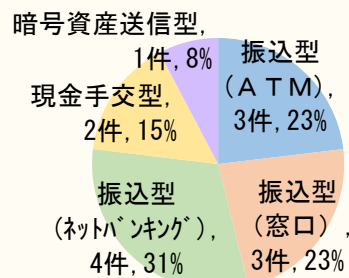
- ① 警察官、検察官等の捜査機関をかたり
- ② 携帯電話機や預金口座等の不正利用等を理由として、被害者自身に犯罪の嫌疑がある旨申し向けて
- ③ 被害者の嫌疑を晴らすための「捜査名目 (優先調査、資金回避等) として、金銭等を要求する

手口で、令和8年4月1日から特殊詐欺の一手口となりました。

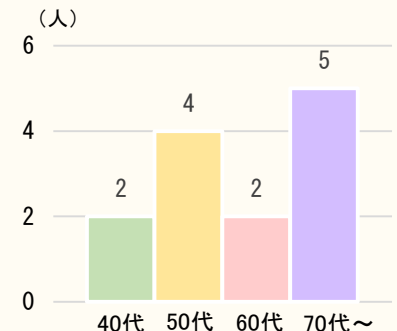
### ○ 初回接触手段



### ○ 交付形態



### ○ 年齢構成



※ 65歳以上の高齢者は5人 (38%)

※ 割合は四捨五入のため、合計が100%にならないことがあります。